



会員の皆さんに「お知らせしたいこと」がありましたら掲示します。

お知らせ

コロナ感染情報

◎ 新型コロナウイルス感染症患者発生状況
累計 185人(10月14日現在)
感染者が増加傾向にあり、保育施設でクラスターと思われる事象も発生しております。感染は誰でも罹りうる認識のもとに、三密を避け、大声での会話は控えるなど、感染予防に努めましょう。

◎ 感震ブレーカー設置の補助

- 10月24日・31日に行います

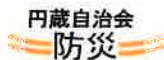
事前にTELし
伺います

11月行事予定

日	曜日	行事内容
1	日	組長会議 次年度の役員選出等
12	木	事務局会議
27	金	事務局会議

いくつチェック出来ましたか?

- **8問以上**
災害の備えが出来ています。その調子で続けましょう。
- **4問以上**
もうひとがんばりです。
確実に備えて行きましょう
- **3問以下**
あなたと大切な家族を守るため、また災害時に、「助けられる人」から「助ける人」になるため、しっかり備えていきましょう。



～ わが家の防災チェック ～

全国・各地で発生している災害は決して他人ごとではありません。防災対策は日頃から準備をしておくことが重要です。家庭での災害に対する備えの総点検をして下さい。



家族で話し合いチェックしましょう。

- 家具や家電製品などの転倒防止対策を行っていますか
- 棚や家具の上から重いものが落ちてこないようにしていますか
- 食器棚などに、飛び出し防止金具を取り付けていますか
- 玄関など出入口に倒れやすいものを置いてませんか
- 自宅の耐震性を調査し、必要な補強などを行っていますか
- 食料品や飲料水(1人1日3ℓ)を備蓄(3日以上)していますか
- 非常持ち出し袋を準備し、すぐに取り出せるようにしていますか
- 常備薬、服用中の薬、「お薬手帳」の備えをしていますか
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池などを準備していますか
- 家族で非常時の連絡方法を話し合っていますか
- 普段から近所どうして「顔の見える関係」をつくっていますか
- ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを把握していますか

災害による被害をできるだけ少なくするために、基本となるのは「自助」です。自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。周囲の人と助け合う「共助」を行うためにも、まず、自分が無事であることが最も重要です。「自助」に取り組むためには、まずは、自分の家の安全対策や災害時の身の安全の守り方など必要な対策を講じることです。防災対策には、絶対大丈夫というものはありません。今回紹介したチェックシートの項目だけでなく平時からどのような災害の危険が及ぶのかを考え、「災害は、「まさか」起きるではなく「いつか」おきるもの」という意識を持って、家庭の防災対策に取り組みしましょう。

◎ 防災対策で重要な「自助」とは?

一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。

おもしろ老人川柳

「目覚ましのベルはまだかと起きてまつ」

「やめてくれ ただの昼寝だ 脈とるな」

「シミのこと 老人斑で ヤなお医者」

「延命は 不要と書いて 医者通い」

「三時間 待つて病名 年相応」

「なあお前 はいてるパンツ 俺のだが」

「アルバムに 遺影用と 付箋あり」

「先寝るぞ 安らかにねと 返す妻」

つぶやき

「起きたけど 今度寝るまで 用もなし」

「お迎えと 言うなよホームの 送迎車」